



### 『どうぶつのおやこ』

藪内 正幸／画  
福音館書店(E-ヤブウ)

猫の親子、きりんの親子…。子どもたちの大好きな動物の親子が写実的に描かれている、文字のない絵本です。動物たちに呼びかけたり、おはなしを作ったり、自由に読んでみてください。

### \* 其他のおすすめ本 \*

#### 『がたんごとんがたんごとん』

安西 水丸／さく 福音館書店(E-アンザ)

#### 『いいおかお』

どい かや／作 主婦の友社(E-トイカ)

#### 『たまごのあかちゃん』

かんざわ としこ／ぶん  
やぎゅう げんいちろう／え  
福音館書店(E-ヤギユ)

#### 『くつついた』

三浦 太郎／作・絵 こぐま社(E-ミウラ)

#### 『くっくっく』

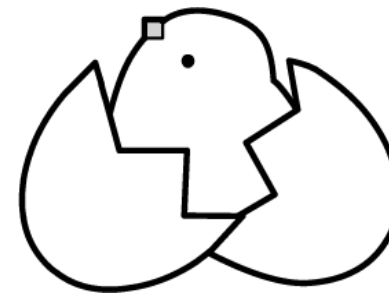
長谷川 摂子／文 小川 忠博／写真  
福音館書店(E-オカワ)

#### 『ゆめにここにこ』

柳原 良平／作・絵 こぐま社(E-ヤナギ)

# あかちゃん えほん

## 【0歳～】

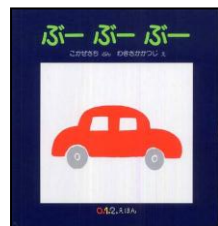


### 『くだもの』

平山 和子／さく  
福音館書店(E-ヒラヤ)

そのままの姿と、食べやすく切られた形とで、交互に描かれたくだものがとってもおいしそう！「さあ どうぞ」の言葉に、思わず手をのばしたくなります。最後は自分でバナナの皮をむけるかな？

シリーズに『やさい』『おにぎり』『いちご』があります。



### 『ぶーぶーぶー』

こかぜ さち／ぶん  
わきさか かつじ／え  
福音館書店(E-ワキ)

赤い自動車は「ぶーぶーぶー」。青い自動車は「ぷーぷーぷー」。大きい自動車も「ぶわーん」とやってきます。

カラフルな自動車がそれぞれの音を鳴らしながら、次々と登場します。読んでいるうちに、子どもたちも思わず「ぶーぶーぶー」。

平成24年7月  
編集発行：福島市立図書館 (Tel. 531-6551)

#### 【福島市立図書館】

- 開館時間  
月～土:10時～18時  
日:10時～17時
- 休館日  
火曜日、祝日、月末図書整理日
- おひぎにだっこのおはなし会  
毎月第3木曜日 10時30分～

#### 【福島市子どもライブラリー】

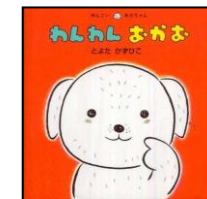
- 開館時間  
毎日:9時30分～19時
- 休館日  
火曜日
- おひぎにだっこのおはなし会  
毎月第1木曜日・第3日曜日 11時～

学習センター図書室については、各館にお問い合わせ下さい。

### \* はじめに \*

赤ちゃんにとって「生まれて初めてふれる本」は、絵本です。赤ちゃんを膝にのせて、できるだけゆっくり、心を込めて読んであげてください。それが親子のふれあいの場となり、赤ちゃんにとっても幸せな経験となっていきます。

このリストでは、0歳位からの赤ちゃんにおすすめの絵本を紹介しています。絵だけで楽しむ絵本、赤ちゃんの身近にある「もの」の絵本、わらべうたの絵本…。ぜひ、赤ちゃんにお気に入りの1冊を見つけてあげてください。



### 『わんわんおかお』

とよた かずひこ／著  
アリス館(E-トヨタ)

いぬさんのおくち、ぶたさんのおはな、ねこさんのおめめ。「どーこ？」の問いかけに、動物たちが答えてくれます。赤ちゃんと一緒に指差しをしながら楽しく読めます。

シリーズに『ぷるんぷるんおかお』『まんまるおかお』があります。

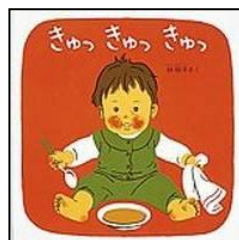


『いないいないばあ』

松谷 みよ子／文  
瀬川 康男／え  
童心社(E-セガワ)

動物たちが「いないいないばあ」をしています。にゃあにゃも、くまちゃんも、こんこんぎつねもみんな、いないいない…ばあ。さあ、今度はあなたも、いないいない ばあ！

ぜひ、赤ちゃんと一緒に遊んでみてください。



『きゅっきゅっきゅっ』

林 明子／さく  
福音館書店(E-ハヤシ)

なかよしのうさぎさん、ねずみさん、くまさんと一緒に、おいしいスープをいただきまーす。あらら、こぼしちゃった。「きゅっ きゅっ きゅっ」きれいにふいてあげようね。あれ、まだお口のまわりにこぼしている子がいるよ。だれかな？

シリーズに『おててがでたよ』『くつつあるけ』『おつきさまこんばんは』があります。



『もこもこもこ』

谷川 俊太郎／作  
元永 定正／絵  
文研出版(E-モトナ)

なんにもない地面から、もこもこ、によきによき。なんだろう？ふくれあがって、ぱくっと食べて、ぼろりと落とす。それがまたふくれあがって、ぱちんと弾けて、ふんわふんわ…。

擬音とシンプルな絵で構成されています。自由な想像で様々なストーリーが楽しめます。



『かぞく』

ヘレン・オクセンバリー／作  
文化出版局(E-オクセ)

おかあさん、おとうさん、おねえちゃん、おにいちゃん、それから…。赤ちゃんの周りにはいる人たちを描いた、文字のない絵本です。

シリーズに『あそび』『したく』『しごと』『ともだち』があります。



『だっこだっこ  
ねえだっこ』

長 新太／さく  
ポプラ社(E-チヨウ)

赤ちゃんはみんなだっこが大好き。だっこだっことおねだりも上手です。

ねこもいぬもぶたもたこも…あれ？ころころぼーるも、くつも、だっこが大好き。もちろん最後は、わたしもママにだっこ。



『ととけっこう  
よがあげた』

こばやし えみこ／案  
ましま せつこ／絵  
こぐま社(E-マシマ)

にわたりのこっこさんが「ととけっこう よがあげた…」と歌うと、みんな元気に起きだします。

伝承わらべうたの絵本です。巻末には楽譜も載っているので、子どもたちの目覚めの時に歌ってあげるのもおすすめです。



『ごぶごぶ  
ごぼごぼ』

駒形 克己／さく  
福音館書店(E-コマガ)

「ごぶごぶ ごぼごぼ」  
「ぷぷぷ ぷわーん」

青やオレンジの丸が、音と共に大小に変化していきます。

水の中にいるような不思議な音と鮮やかな色。ページには丸い穴も開いており、視覚と触覚を使って楽しめる本です。



『じゃあじゃあ  
びりびり』

まつい のりこ／作・絵  
偕成社(E-マツイ)

自動車や犬、掃除機などの身近な「もの」とその音が、シンプルな絵とはっきりした色で描かれています。

声に出してみたり、その「もの」のまねをしてみたりといろいろな楽しみ方があります。

「まついのりこあかちゃんのほん」シリーズの1冊。